

## メンテックワールド社長 小松節子のハートフルメッセージ



### 「命は有限である」

乳がんりがんに罹患りかんしていることが分かったのは2009年です。歩道を歩いていて転倒し、全身を強く打ちました。体をさすっていると、右乳房にしこりを感じました。精密検査でステージ3の乳がんりがんと診断され2・7センチの乳がんりがんとリンパ節リンパ節に移転したがんを切除し乳房温存手術手術をしました。

術後働きながら抗がん剤治療と放射線治療に取り組まされた。がん治療が始まる前日には、社員を集め、女性社員と男性社員の配偶者には、乳がん検診を会社負担で行うことを約束しました。早期発見、早期治療の大切さが身に染みて分かったからです。県の提唱する「Teamがん対策ひろしま」にも第1号で登録され、翌年広島県知事賞を受賞しました。

がん克服のエネルギーになったのは仕事です。がんがんに罹患する前後は、リーマンショックリーマンショックがあったり、本社の移転があったりと、大変なことが重なりましたが、「前向きに生きるしかない」と腹をくくりました。

罹患して12年が経過しましたが、幸い再発はありません。がんがんに罹患してから気が付いたのは、命は有限であるということでした。だからこそ、もっといろいろなことに取り組んで、濃い人生を歩んでいきたいと思っています。